愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2026 年 9 月 25 日　　第 1 版

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテに記録された情報を使用します。通常の診療で採取した血液や組織などの試料は使用しません。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、研究結果の公表後など、研究の対象から削除できない場合がありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	乳癌患者の術前診療録におけるアピアランス関連記載の可視化―オフライン大規模言語モデルを用いた探索的研究―
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院　病院長 （情報の提供元の管理責任者）
研究責任者 （個人情報管理者）	肝胆膵・乳腺外科　准教授　亀井 義明
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日
対象となる方	2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに、愛媛大学医学部附属病院で原発性乳癌に対する初回手術を受けた 18 歳以上の患者さん。ただし、術前薬物療法を受けた方などは対象外となります。
利用する試料・情報等	年齢、手術日、術式、乳房再建および乳頭温存の有無、初回手術前に乳腺外科医が記載した診療録の文章。血液や組織などの試料は使用しません。
研究の概要	乳癌の手術を受ける前には、乳房の形、傷、乳頭、再建、衣服や入浴など、外見に関

（目的・方法）	係する心配や希望が生じることがあります。本研究では、術前の乳腺外科診療録に、こうした内容がどのような形で記録されているかを調べます。診療録の文章から個人を特定できる情報を削除した後、インターネットに接続しないコンピューターで大規模言語モデルを用いて関連する記載の候補を抽出します。最終的な判定は研究者が文章を確認して行います。外部の生成 AI サービスやクラウドへ診療情報を送信することはありません。AYA 世代と 40 歳以上の患者さんの違いも探索的に検討しますが、患者さんが実際に抱いた心配の頻度ではなく、診療録に記載された内容を評価する研究です。新たな検査、治療または来院はありません。
個人情報の保護について	研究に使用する情報から氏名、カルテ番号、住所など個人を直接特定できる情報を除き、研究用の番号を付けます。研究用番号と患者さんを対応させる表は院内で厳重に管理し、解析データとは分けて保管します。解析はオフライン環境で行い、情報を外部サーバーや国外へ提供しません。研究成果は学会や学術雑誌で公表する予定ですが、個人を特定できる情報は公表しません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院　肝胆膵・乳腺外科　村上 朱里 〒791-0295　愛媛県東温市志津川 454 Tel：089-960-5327